

# 有限会社吉田実業 焼却炉 維持管理計画

項 目	業 務 内 容
搬入物受入 荷降ろし	搬入物、マニフェスト確認。 許可品目以外の廃棄物が多量に混入しており、選別困難な場合は受入拒否。 搬入物の性状、場内の状況により展開場の指示。
廃棄物整理	搬入物の保管基準順守。 粉塵・飛散防止のための散水。 許可品目以外の廃棄物が混入している場合は、出来る限り手選別により分別し、 焼却不可の廃棄物は自社排出にて処理。
焼却	焼却前に各装置のチェック。 助燃バーナーにて炉内温度を800℃以上に保ち、焼却物投入後点火。 燃焼ガス温度850℃以下で再燃バーナーを稼働(自動制御)。 燃焼ガス温度、再燃室出口温度、2次冷却塔入口・中間・出口温度、BF入口温度、 CO濃度を連続測定・記録するとともに、1時間毎に目視確認・記録。 過剰投入とならないように、燃焼ガス温度、酸素濃度を確認しながら定量連続投入。 BFに消石灰、活性炭を定量供給。
鎮火	焼却物投入を終了後、送風機・排風機をタイマーセット。
燃えがら・ばいじん 法定測定・記録	飛散防止のため、散水しながら燃えがらを所定のピットへ貯留。煤塵も同様。 法の定めに従って項目、頻度を順守し実施。結果報告。
その他	焼却温度: 800℃以上 集じん機入口温度: 概ね200℃以下(概ね180℃以下を目標として焼却) CO濃度: 100ppm以下(換算値) 焼却灰: 熱しゃく減量10%以下 施設、各機器の定期点検1回/月及び施設総点検、清掃1回/年を実施し、 その結果を記録して3年間保存する。